

## 乳児の表現を受けとめましょう

### ●西信達中学校に赤ちゃんがやってきました

子育て支援センターひだまりが主催する「赤ちゃん教室」は、赤ちゃんや保護者が交流する場所だけでなく、中学生が赤ちゃんとふれあう機会を提供しています。中学生に抱っこされながら視線はずっと保護者を見ている赤ちゃん。赤ちゃんは、泣くことや、表情、しぐさ、声のトーンなどで、気持ちを表現しています。



### ●赤ちゃんにも意見表明権は認められる

国連子どもの権利委員会の公式見解では、「赤ちゃんにも意見表明権は認められる」としています。子どもの権利条約が定める「意見」は、必ずしも言葉での主張や見解をさすものではなく、気持ち、例えば、つらい、悲しい、うれしい等の心情も含めて「意見」としてあります。



### ●赤ちゃん教室参加の保護者の感想

▽子どもを授かるまで、子どもの権利について知らなかったので、お話を聞いて新鮮でした。子どもがのびのびと成長していけるように、大人や社会が協力していくことが大事だと気づきました

▽泉南市が子どものことについて、とても力を入れていることがわかって、良かったです。安心できました

▽日々の子育てを振り返る、とても良い機会になりました。言葉で語らない赤ちゃんだからこそ、接し方に気を付けないと！と、あらためて考えました。子どもの気持ちを考え、自分の言い方にも気を付けようと思いました



**小学5年生から18歳までの皆さん  
せんなん子ども会議に参加しませんか**

学校を通じて申込むか、下記に連絡してください。

**【問合せ】** 泉南市子どもの権利に関する条例事務局  
(人権教育課 ☎ 483-3672 / FAX483-7306  
/ e-mail:jinkenkyouiku@city.sennan.lg.jp)